

静岡大学名誉教授・公益財団法人日本城郭協会理事長
NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』時代考証担当



講師 小和田哲男氏

播磨国・姫路に生まれ、秀吉を天下統一に導いた
希代の軍師 黒田官兵衛(如水)。
戦場で「如水の赤合子」と恐れられたその兜が
何故か盛岡にある。

小和田哲男 歴史講演会 官兵衛の兜、 盛岡にあり

秀吉の軍師 黒田官兵衛の
合戦、城、人物像を語る

平成26年12月14日(日)

13:30-15:30 [開場13:00]

もりおか歴史文化館1階研修室

特典 | 常設展示無料見学



写真は左から[紅葉の盛岡城本丸石垣][もりおか歴史文化館外観][黒田孝高所用「銀白檀塗合子形兜」][盛岡城二ノ丸石垣冬のライトアップ]



おかげさまで
創業110周年
川口印刷工業

KAWAGUCHI PRESENTS

参加者
50名様
募集



申込方法 「往復はがき」でお申込ください。

受付期間11月14日(金)～28日(金) ※応募多数の場合は抽選となります。

<p>〒020-0841 盛岡市羽場10-1-2 川口印刷工業(株)</p> <p>官兵衛講演会係 行き</p>	<p>「返信」裏面には何も書かない てください。</p>	<p>1 氏名(ふりがな) 2 性別 3 年齢 4 郵便番号・住所 5 電話番号か携帯 電話番号</p> <p>「返信」裏面にはお申込者様の 「ご住所」「お名前」を必ずお書 きください。</p> <p>「往復」裏面には上記事項をお 書きください。</p>
--	----------------------------------	---

*応募者の個人情報は当社の個人情報管理規定に従い厳正に管理致します。

もりおか歴史文化館
「官兵衛の兜」展示公開情報

実物公開/2014年11月19日(水)～24日(月/祝)

2015年1月2日(金)～4日(日)

複製品公開/2014年11月25日(火)～12月15日(月)

公開場所/2階歴史常設展示室

*資料保存のため原資料(実物)の展示は日にちを限って公開されます。

*期間中の休館日 12月16日(火)



●お問い合わせ 川口印刷工業株式会社

〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2

TEL019-632-2211(代) FAX019-632-2217 <http://www.kpj.co.jp/>

担当/神山・晴山

KAWAGUCHI
<http://www.kpj.co.jp/>



福岡城南丸多聞櫓(国指定重要文化財)

小和田哲男歴史講演会要旨

NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』の放映で、一躍歴史の表舞台に現れた官兵衛こと黒田孝高(如水)。福岡藩主黒田家の藩祖であり、豊臣秀吉の天下統一に関わる戦いで軍師として采配を振るい、120年以上続いた戦国乱世の終焉に貢献した功績が顕かにされました。その孝高に、義父・榊橋伊定が贈った兜が盛岡に残されています。孝高の人物像や各地に築いた城のこと、そして彼にまつわる数々のエピソードの真相を、『軍師官兵衛』で時代考証を担当された小和田哲男先生が語ります。

黒田家の居城 福岡城天守台石垣(国指定史跡)

講師 小和田哲男氏略歴

昭和19年(1944)静岡市に生まれる。昭和47年(1972)早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了(文学博士)。静岡大学講師、助教授、教授を経て、現在、静岡大学名誉教授(日本中世史専攻)、公益財団法人日本城郭協会理事、学術団体日本城郭史学会委員。

主な著書

『後北条氏研究』(吉川弘文館)、『小和田哲男著作集』(全7巻、清文堂出版)、『歴史探案入門』『戦国三姉妹』(以上、角川選書)、『今川義元』『黒田如水』『戦国史を歩んだ道』(以上、ミネルヴァ書房)、ほか多数。

南部家と御預人

おまけに

もりおか歴史文化館が所蔵している「銀白檀塗合子形兜(きんぱくたんぬりこすなりかぶと)」(桃山時代)は、今年のNHK大河ドラマの主人公として脚光を浴びている黒田官兵衛(孝高よしただ／如水みづじ)、1546〜1604が義父・榊橋伊定さかきはしくはしとれきざから贈られたもので、官兵衛が実際に所用したことが分かる貴重な遺品です。江戸時代の初め、福岡藩黒田家で起きた御家騒動の責任をとり、江戸幕府の裁定で南部家「御預」の処分を受けた栗山大膳(利章)が家宝として盛岡へ持参したものです。大膳の父は官兵衛の家老として知られる栗山善助(利安)で、死に臨んだ官兵衛が多年の忠勤を褒め善助に甲冑を与えたことが伝えられています。もりおか歴史文化館が所蔵する兜はその一部ということになります。

刑罰のひとつです。江戸から遠い地へ配流はし、その身柄を大名に預け置く処分です。盛岡は江戸から遠い北の土地、南部家には実に多くの元大名や事件の主役が「御預人」として下つて来ました。黒田騒動の主役・栗山大膳のような御家騒動の一方の当事者、そのほかに関ヶ原合戦で西軍に与した戦国武将「宮部長熙みやべながひろ、日本と朝鮮の間で取り交わした国書を改ざんした対馬藩の外交僧・方長老(規伯きほく、高国たかくに)、家中混乱の責任を負った丹後宮津城主・京極きんぎょくきょうごく、高国たかくになど、その顔ぶれはまさに多士済々です。

南部家は彼らに対し扶持米ちほいまを給与するなど厚礼をもって迎えました。罪を犯した人ではあるものの教養人、知識人が多く、特に方長老は盛岡の文化発展に貢献しました。多くの「御預人」が配所となつた盛岡で最期を迎えています。南部家はその子孫を家臣として召し抱え、歴史に名をとどめる名家の血筋が後世に残りました。



愛宕山付近に建つ栗山大膳墓所



法泉寺門前「方長老ゆかりの地」記念碑



方長老由来の盛岡銘菓「黄精飴」